

都城コアカレッジ ニュース速報

2020年(令和2年)
12月25日発行

編集・発行
都城コアカレッジ

E.T.ロボコン全国大会 3位入賞の快挙達成

先日の11月22日(日)午後11時より「E.T.ロボコン2020 チャンピオンシップ大会(全国大会)」が開催された。

本校からは、エントリークラスに「Re:MCC_Beta」が参加して、競技部門で見事、第3位入賞を達成した。

E.T.ロボコンは2002年から開催され、今年で19回目となる大会で、技術教育の機会を提供することを目的としたロボットコンテストだ。一般的なロボコン

と異なり「ソフトウェア重視の教育コンテンツ」である点が特徴で、共通の走行体によるコース走行のタイム成績に加え、高品質な組込み開発に欠かせないモデリングも評価対象となる。

組み込み・ITエンジニアやプログラミングを学ぶ学生を対象とし、参加者は累計で4095チーム・22700名にのぼる。なお、今年、コロナ禍の影響で、オンラインの開催になった。

今回の快挙の勝因について、担当の原口先生は次のように語っている。

例年だと、試走会での成績が全国レベルで発表されるが、コロナ禍の影響で成績発表がなく、他チームと比べて早いのか遅いのか全く分からず不安だった。そこで、「とにかく試走させて、可能な限りゴールタイムを短縮する」、「難所ステージでは確実に最大ポイント25を獲得する」という2つの目標を設定し、何度かトライアンドエラーを繰

り返し、自分たちのプログラム品質の向上に集中したことが、競技部門3位という成績につながったのではないかと。

では、入賞チームの学生たちは、どのような感想を持っているのだろうか。

田代君は、「大会でいい成績を出すには、次のことをマスターすることの重要性を痛感したようだ。

- (1) C++
- (2) 競技規約
- (3) オブジェクト指向
- (4) Egitの使える機能
- (5) Visual studioのcodeのショートカット

重満君は、「モデル部門を担当した。最初全くわからなかったが、数々のアドバイスや今までのモデルを参考にして何とか作成できた。反省点としては、他メンバーとの話し合いをもっとすべきだった。」と感じているようだ。

福満君は、「事前教育として、全体での講習やデータの配布、slackでの質疑応答、試走会など様々な教育があるので、それを生かして来年の2年生には頑張ってもらいたい。」と後輩たちにエールを送った。

情報デザイン科の先生、学生の皆さん、今回は本当におめでとうございました。



チャンピオン大会の成績



入賞チームの学生たち